

## 福岡市産学連携交流センター指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

1 日時：令和2年10月21日（水） 15：00～16：30

2 場所：Fukuoka Growth Next サブイベントスペース

### 3 出席者

- (1) 選定・評価委員会委員 5名
- (2) 事務局 3名

### 4 審議事項

- (1) 審査方法について
- (2) 応募資格の確認状況について
- (3) 応募団体の財務状況について
- (4) プレゼンテーション及び質疑応答
- (5) 採点・意見交換

### 5 議事要旨

本委員会は、指定管理者の候補選定に関することであるため、福岡市産学連携交流センターに係る指定管理者選定・評価委員会に関する要綱に基づき、非公開とする旨を説明。応募は1団体であり、委員全員から、利害関係がない旨の誓約書を受領したことを報告。

(1) 審査方法について、事務局説明。

(2) 応募資格の確認状況について、応募書類に不備がなかった旨を事務局説明。（暴力団排除条例に基づく福岡県警察本部への照会結果については、本日中となることを説明し、応募資格を満たしていることを委員に後日報告）

(3) 応募団体の財務状況について、池田委員より説明。

(4) プレゼンテーション及び質疑応答

委員：産学連携支援員の支援は、起業相談や法人化サポート、人材雇用支援等を福岡市の他施策と連携すると提案しているが、国や県、NEDOなどの支援は活用しないのか。

応募団体：入居者の相談に応じて、国や県など他の機関の支援とも連携したい。

委員：入居者への支援というのは、入居者への情報提供や情報共有について、主にメールで行うのか。感染症対策は、アルコール消毒のみで、体温測定はしないのか。施設内でクラスターが発生した場合の対応はどう考えているのか。

スタートアップ支援について、提案者の社員を現地スタッフとして配置するのか。

応募団体：入居者とは、メールで行う予定。感染症対策は、1日2回ほど手が触れる部分のアルコール消毒を実施する。体温測定は入居者に任せる。クラスターが発生した場合は、福岡市に報告したうえで、市と対応を協議して運営を行っていきたい。

スタートアップ支援については、外部の人材を配置予定。

委員：交流会等に関しては、入居者間だけでなく外部との連携を強化した方がいい。  
また、知財を簡単に相談できる窓口等があると、入居者の満足度があがると思う。  
併せて、今はEメールよりも携帯を見るのでSNSでの情報共有が早い。

委員：先日 FiaS を視察して、セキュリティや清掃はしっかりしていたが、入居者はそれぞれ部屋にこもり、交流をしているような雰囲気を見受けられなかったが。

応募団体：入居者交流会を開催している。また、交流ホールや交流スペースなどを開放し、昼食時間などで、コミュニケーションが取れていると思っている。

委員：管理責任者は入口から奥まった管理室におり、スタカフェのような開かれた雰囲気ではなかった。支援員はどこにいる予定なのか。また FiaS 内にパンや飲料の自販機など入居者サービスになるものがあった方がいい。

応募団体：支援員は、FiaS 内にいる時は、管理責任者がいる管理室にいる予定。FiaS 内におけるパンの自販機など、要望があれば検討したい。

委員：資金提供について確実な体制で行うということだったが、具体的にどんな形か。

応募団体：公的な支援の紹介や、投資先や地場の金融機関に繋ぐことを考えている。地場の金融機関は弊社のグループと付き合いがあるので、親会社にも相談して協力を仰ぎながら利息を抑えた形で融資することや投資することなどを考えている。

委員：常時何名体制で運営するのか。また、産学連携支援員は、いつ、どのような形で支援するのか。

応募団体：維持管理については、管理責任者1名、事務員1名の計2名。あとは清掃作業員を2名配置予定。産学連携支援員については、まず常駐する管理責任者が入居者の情報収集を行い、産学連携支援員に情報を提供後、状況に応じて産学連携支援員による直接面談等を通じて必要な支援を行っていきたいと考えている。

委員：想定では月に何回くらいを考えているのか。

応募団体：最初の4月5月は週一くらいのペースで、支援員がFiaSにて支援する。まずは支援員に入居者と直接面談をし、研究内容等を理解してもらおう考え。

委員：入居者にも支援員の存在を認識してもらわなければならない。支援員はコーディネーターのような活躍を期待しているが、どのような人の配置を考えているのか。

応募団体：支援員は相談を受けて、資金面や開業手続など、求めていることを聞いて、専門家等につなげる役割が出来る人を考えている。

委員：支援員は専門的なことを知っているプロというよりは、プロにつなぐというイメージか。

応募団体：そうである。

委員：産学連携支援員はどのような背景の方を予定しているのか。

応募団体：連携支援員の人選は詰めていない。市と協議しながら決めていきたい。

事務局：産学連携支援員については、少なくとも週に3日は業務するよう仕様書に記載している。説明では、週に1回は常駐と言っていたが、残りの2日はどのような対応を考えているのか。

応募団体：管理責任者を産学連携支援員のサブとして考えており、常駐しない2日はオンラインで必要に応じて相談を受ける体制を整えたい。

事務局：委員が言ったように、産学連携支援のためには現場のコミュニケーションが重要と考えているため、提案は計画であるし、産学連携支援員の常駐は週に1日と言わずに、連携が上手くいくよう見直してもらうということではよろしいか。

応募団体：承知した。

委員：仕様書は順守してもらう必要があるので、きちんとお願いしたい。その上でサブとなる管理責任者はどのような背景をもった人を予定しているのか。

応募団体：入居者と良好な関係を築けている現在の管理責任者を予定している。

委員：施設管理の責任者としてはいいと思うが、産学連携支援員の常駐対応について見直していただきたい。

応募団体：承知した。

委員：ハード面は素晴らしいので、管理責任者は施設の管理に専念してもらい、産学連携支援員が入居者の声を吸い上げてコミュニティを作っていくなど、ソフト面を強化してほしい。

委員：近くにある九州大学の研究者や学生との交流については、どのようにやっているのか。九州大学との交流についても力を入れた方がいいと思う。

応募団体：入居者アンケートでも、もっと外部の方が参加しやすいようにという意見もあるので、弊社に決まった場合は、外部とも交流できるよう企画を考えていきたい。

#### (5) 採点・意見交換

選定委員会の各委員から西鉄ビルマネジメント株式会社が福岡市産学連携交流センターの指定管理者として適しているとの評価がなされた。

#### <主な評価・意見>

- ・様々な施設運営の実績があり、財務や経営基盤も安定している。
- ・施設の保守点検や清掃・警備、化学物質管理については、体制がしっかりしている。
- ・日常清掃における環境配慮型洗剤の利用は良い。
- ・FGN やスタートアップカフェ等と連携するのはいい。